

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－37

学校名・団体名	科学教育研究会
HPアドレス	なし
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	自然体験学習と科学工作体験学習 Part 2
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>塩竈市では、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震により、沿岸部に津波が襲来し、津波の高さは最大で8mを超え、浸水範囲が本土地区では市域面積の約22%、浦戸地区では全島において居住区域に達するなど、甚大な被害をもたらした。</p> <p>このような未曾有の震災を経験した児童たちに、被災地にある自然のすばらしさ、自然を研究することの楽しさを伝えることで、少しでも彼らに元気や夢をもってもらいたいと願う。</p>	

【実施時期】

平成27年12月14日(月) 9:35~10:20

【実施対象】

宮城県塩竈市立第一小学校 6年2組 (6年1組は、後日レプリカ型を送付し実施)

【実施内容】

東北に産出する化石の価値について解説をするとともに、児童全員が本物の化石の複製をつくることで、複製を用いた研究についての面白さを理解できるようにした。

【授業の実際】

塩竈市周辺の東北地方は、三葉虫やサメの歯が多く産出する有名な場所であることは、意外と知られていない。各年代を代表する化石(三葉虫、アンモナイト)を見せたり、バージェス動物(アノマロカリス、ハルケゲリア、等)について話したりすることで、東北地方の自然のすばらしさを伝えた。その後化石レプリカ作りを行った。また、化石を用いた研究を行う研究者という職業の魅力についても伝えた。



化石やバージェス動物についての解説

東北地方の自然のすばらしさを学ぶ



まずは水をはかりとる



石膏をよくまぜる



固まるのを待つ



どんな形ができるかな?



やった! できたよ



素敵な宝物のできあがり

【成果】

児童は、以下のような感想をもった。(一部抜粋) 今回の活動を通して、多くの児童が地元東北の自然のすばらしさに感動し、また化石を含む自然科学を研究することへの楽しさを感じとったと考える。

- ・ 地球が46億年前にでき、アンモナイトや三葉虫が5億3000年前に、この東北にすんでいたことがわかり感激でした。
- ・ 化石が大好きになり、もっと化石のことが知りたくなりました。化石の発掘もしたいし、博物館にも行ってもっと調べてみたいです。
- ・ 家に帰って、三葉虫のレプリカの白い部分を彫刻刀で削ってより本物らしく、弟と一緒に楽しみました。